

# 2018年度 環境活動レポート

(対象期間:2018年6月1日~2019年5月31日)



タマタイ産業株式会社

作成日:2019年8月31日

改訂日:2019年9月17日

# 目次

---

1. 組織の概要	3ページ
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 設立	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 対象範囲	
2. 環境方針	4ページ
3. 組織図	5ページ
4. 産業廃棄物施設の処理工程図	6ページ
5. 許可の内容	7～8ページ
6. 施設等の状況	9ページ
7. 2016年度環境目標・計画・実績・評価(次年度の取組)	10～12ページ
8. 環境関連法規等一覧表(遵守評価記録)	13ページ
9. 代表者による全体評価の見直し結果	14ページ

# 1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名  
タマタイ産業 株式会社  
代表取締役 大塚 雅司

- (2) 所在地

本社	〒700-0935 岡山県岡山市北区神田町2丁目1-25 TEL (086)224-3291 FAX (086)224-3310
金川工場	〒709-2134 岡山県岡山市北区御津下田450 TEL (086) 724-0115 FAX (086) 724-2694
建部工場	〒709-3121 岡山県岡山市北区建部町大田1425 TEL (086) 722-3865 FAX (086) 722-3459
白石工場	〒709-3121 岡山県岡山市北区建部町大田4610-1

- (3) 設立

昭和55年6月19日

資本金 2500万円

- (4) 事業内容

木材チップ製造販売、樹皮を素材とした堆肥・肥料・マルチング材製造販売、  
産業廃棄物処理業(中間処理)・収集・運搬、一般廃棄物収集・運搬、処分

- (5) 事業規模

活動規模	単位	2018年6月～ 2019年5月	2017年6月～ 2018年5月	2016年6月～ 2017年5月
処理量(出荷量)	t	32,404	29,959	27,702
受入量	t	49,823	45,125	43,645
収集運搬量	t	3,015	2,980	3,858
売上高	百万円	742	686	686
従業員数(本社)	人	7	8	8
従業員数(金川)	人	22	20	22
従業員数(建部)	人	10	10	9
敷地面積(金川工場)	m <sup>2</sup>	8,441.74	8,441.74	8,441.74
敷地面積(建部工場)	m <sup>2</sup>	8,761.14	8,761.14	8,761.14
敷地面積(白石工場)	m <sup>2</sup>	2,077.14	2,077.14	2,077.14
床面積(本社)	m <sup>2</sup>	34.23	34.23	34.23
床面積(金川工場)	m <sup>2</sup>	1,173.87	1,173.87	1,173.87
床面積(建部工場)	m <sup>2</sup>	4,150.28	4,150.28	4,150.28
床面積(白石工場)	m <sup>2</sup>	392.64	392.64	392.64

- (6) 認証・登録の対象組織・活動

- 組織名 タマタイ産業株式会社
- 活動 木材チップ製造販売、樹皮を素材とした堆肥・肥料・マルチング材製造販売、  
産業廃棄物処理業(中間処理)・収集・運搬、一般廃棄物収集・運搬、処分
- 対象事業所 本社、金川工場、建部工場、白石工場

## 2. 環境方針

### 【環境理念】

タマタイ産業株式会社は、廃棄物処理に携わる企業として、事業活動における負荷の低減に積極に取り組みます。

### 【基本方針】

1. 業務における無駄・無理の排除に努めます。
2. 中間処理に伴う再資源化率の向上を図ります。
3. 節電と省エネルギーを進め、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
4. 節水に努め、排出量を低減し、水資源の保全に努めます。
5. グリーン購入の推進に努めます。
6. 環境に関係する法規制、条例等を遵守し、環境に配慮した調達を進めます。
7. 環境への取組を環境活動レポートに取りまとめ公表します。

上記環境方針を全社員に周知します。

改定日：2016年 6月1日

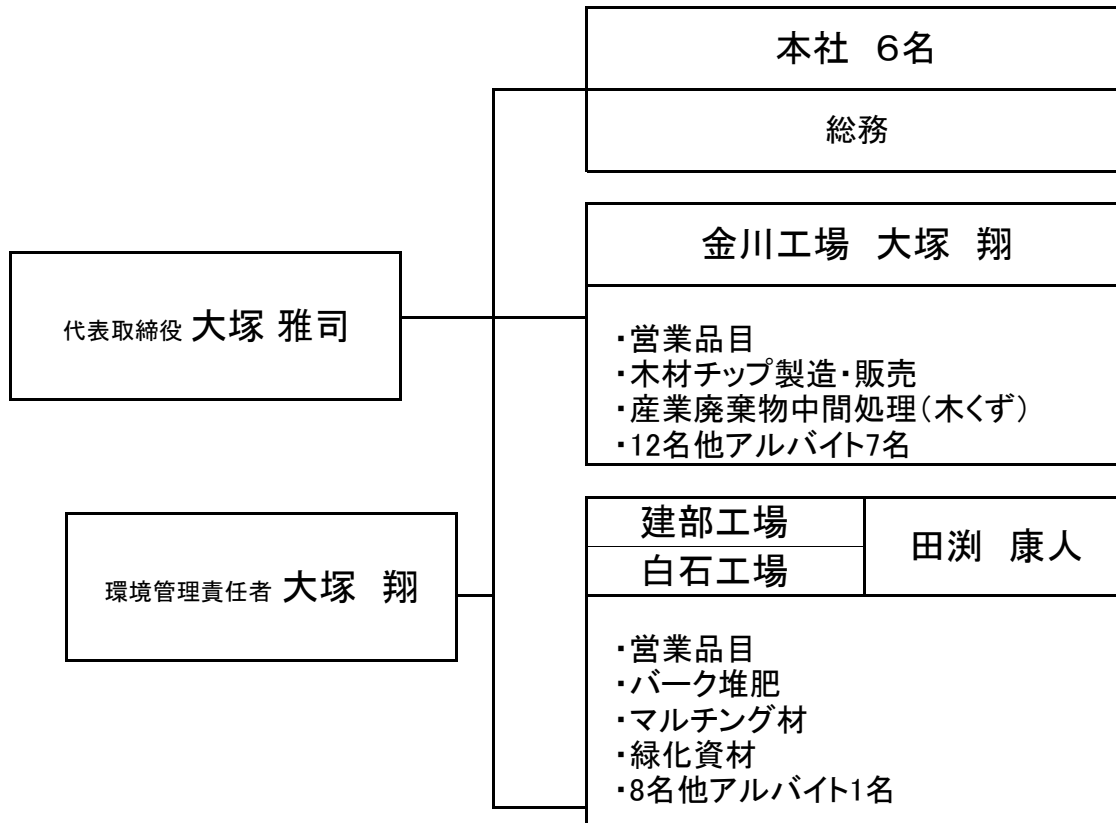
制定日：2012年 6月1日

**タマタイ産業株式会社**

**代表取締役 大塚 雅司**

### 3. 組織図

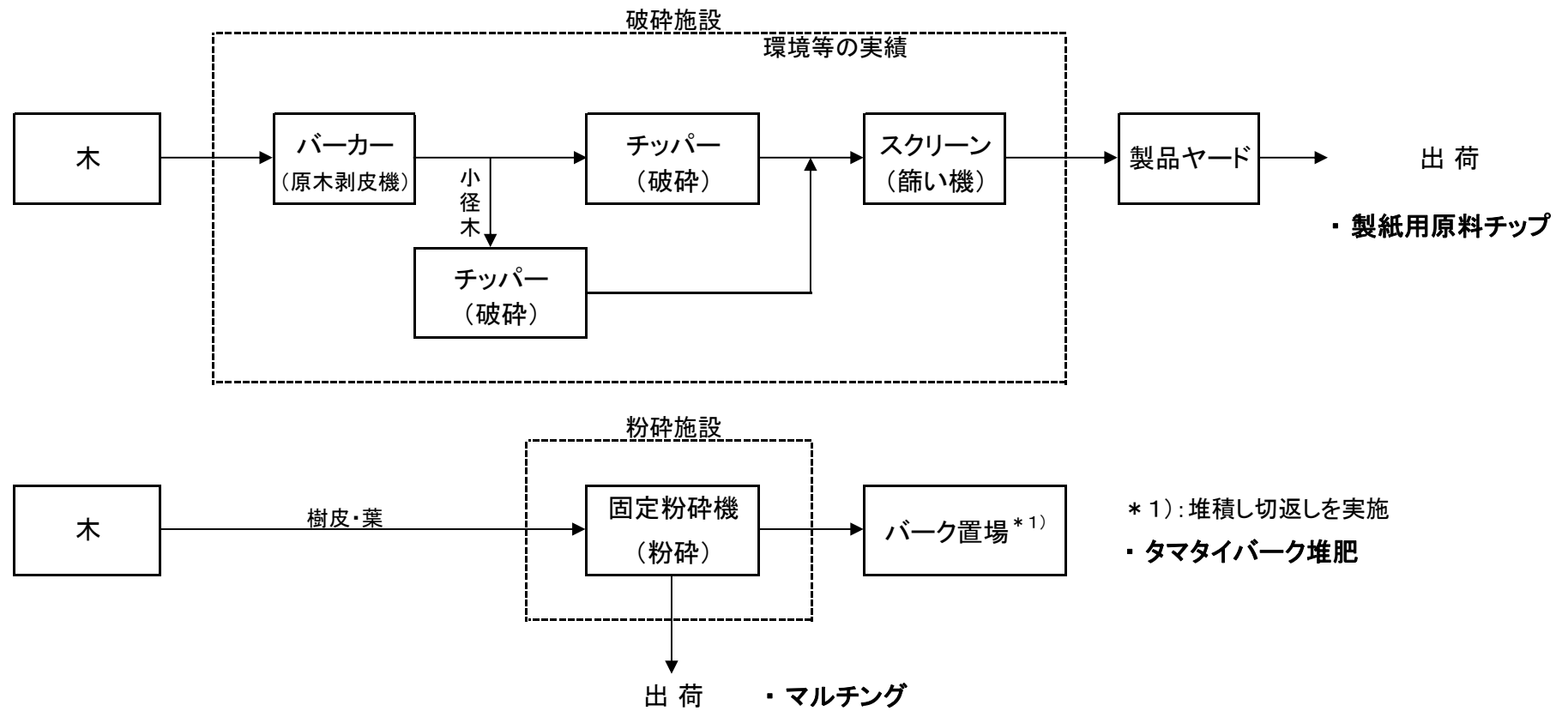
2018年7月1日



- 責任及び権限**
- 1) 代表取締役
    - ① エコアクションに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
    - ② エコアクションの実施及び管理に必要な資源を用意する。
    - ③ 管理責任者を任命する。
    - ④ 環境方針の設定・見直し及び伝達を行う。
    - ⑤ 代表者による全体見直しと評価を行う。
    - ⑥ 環境活動レポートの承認、発行。
  - 2) 環境管理責任者
    - ① エコアクションを構築し、管理する。
    - ② 環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し、承認する。
    - ③ 法規制等の取りまとめを行い遵守状況をチェックする。
    - ④ 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し、承認する。
    - ⑤ 環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
    - ⑥ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しを必要な処置を行う。
    - ⑦ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
    - ⑧ 環境活動レポートの作成。
  - 3) 各工場長
    - ① 工場におけるエコアクションの実施。
    - ② 工場における環境方針の周知。
    - ③ 工場の従業員に対する教育訓練の実施。
    - ④ 工場に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。
    - ⑤ 特定された項目の手順書作成及び運用管理。
    - ⑥ 工場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練、記録。
    - ⑦ 工場の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
  - 4) 本社総務
    - ① 外部からの苦情等の対応を行う。

#### 4. 産業廃棄物施設の処理工程図

産業廃棄物施設の処理工程図



## 5. 許可の内容

表(1) 処理施設の概要

※優良認定を取得しているため、有効年月日に変更があります。

2018年7月1日

①

処理業関連	発行者	登録及び許可番号	届出及び許可年月日	許可の有効年月日	事業内容等	取扱品目
産業廃棄物処理業	岡山県知事	第3321015552号	平成21年2月28日	※ 平成35年2月27日	中間処理(移動式破砕) 設置場所: 岡山県(岡山市及び倉敷市を除く) 産業廃棄物排出事業場内 設置年月日: 平成15年9月2日 処理能力: 440t / 日(8時間) 設置許可番号: 第1-(8の2)-3号	木くず
	岡山市長	第08320015552号	平成21年2月28日	※ 平成35年2月27日	中間処理 (定置式破砕・粉砕、移動式破砕及びパーク堆肥化処理)	
					破砕(定置式)(金川事業所)	廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず 以上4種類 (石綿含有産業廃棄物及び自動車等破砕物を除く。)
					破砕(定置式)(建部事業所)	木くず 以上1種類 (石綿含有産業廃棄物を除く。)
					破砕(定置式)(金川事業所)	木くず 以上1種類 (石綿含有産業廃棄物を除く。)
					粉砕(移動式)	木くず 以上1種類 (石綿含有産業廃棄物を除く。)
	パーク堆肥化処理(金川事業場)	木くず、繊維くず 以上2種類				
パーク堆肥化処理(建部事業場)	木くず、動物のふん尿 以上2種類					
倉敷市長	第10020015552号	平成21年4月6日	※ 平成35年2月27日	破砕(移動式)	木くず (石綿含有産業廃棄物を除く。)	
産業廃棄物収集運搬業	岡山県知事	第33010155521号	平成21年4月19日	※ 平成35年4月18日		木くず、動物のふん尿 (これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。)
	岡山市長	第08310015552号	平成23年11月8日	※ 平成32年12月23日	積替え保管の有無【有】 ①積替え保管を行う場所及び面積並びに 保管する産業廃棄物の種類 ・岡山市南区海岸通二丁目3番23の一部 (面積550㎡) ・木くず 以上1種類(石綿含有産業廃棄物を除く) ②保管上限及び積み上げることのできる高さ ・990㎡ ・3m	木くず、動物のふん尿 (石綿含有産業廃棄物を除く。)
	兵庫県知事	第028060155552号	平成23年12月14日	平成33年1月9日		木くず
一般廃棄物処理業	岡山市長	4110	平成30年11月1日	平成32年10月30日	中間処理(選別・破砕・粉砕)	木くず
一般廃棄物収集運搬業	岡山市長	4105	平成30年4月1日	平成32年3月31日	一般廃棄物(事業活動に伴うごみ)の収集・運搬	木くず

















②

処理施設の種類	産業廃棄物の種類	施設の場所	設置年月日	処理能力	処理方法	構造及び設備の概要
破砕機	木くず	金川工場	昭和62年11月30日	96t / 日	破砕	ナイフ方式 UTC603-3N型
破砕機	木くず	金川工場	平成15年1月6日	4.9t / 日	破砕	ナイフ方式 CKS-803型
破砕機(移動式)	木くず	金川工場	平成15年9月2日	440t / 日	破砕	回転ハンマー方式BR200T
破砕機(固定式)	木くず	金川工場	平成15年12月27日	440t / 日	破砕	回転ハンマー方式BR200T
破砕機(固定式)	木くず	金川工場	平成18年1月13日	4.79t / 日	破砕	ナイフ方式 PS103型
	廃プラスチック			4.57t / 日		
	紙くず			4.18t / 日		
	繊維くず			1.53t / 日		
破砕機(固定式)	木くず	金川工場	平成19年7月30日	104t / 日	破砕	ハンマー方式 HMP-1400型
破砕機(固定式)	木くず・動物ふん尿	建部工場	平成元年2月28日	24t / 日	破砕	ハンマー方式 HMP-720N型
粉碎機	木くず	金川工場	平成5年7月21日	36t / 日	粉碎	ハンマー方式 HMP-720型
バーク堆肥化処理施設	木くず・繊維くず	金川工場	平成18年1月13日	24t / 日	集積熟成	重機にて切り替えし
バーク堆肥化処理施設	木くず・動物ふん尿	建部工場	平成元年2月28日	24t / 日	集積熟成	重機にて切り替えし



## 6. 施設等の状況

### 車両一覧

岡山 100 さ 88-96		岡山 100 す 41-93		岡山 100 せ 705		岡山 100 は 46-07	
4tダンプ	積載量 3,500 kg	4tダンプ	積載量 3,500 kg	4tダンプ	積載量 3,500 kg	8tキャブオーバー	積載量 8,600 kg
車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真	
車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真	
岡山 11 ほ 58-48		岡山 100 さ 29-47		岡山 100 さ 91-48		岡山 100 さ 36-13	
10tダンプ	積載量 7,800 kg	4tダンプ	積載量 4,000 kg	4tダンプ	積載量 2,800 kg	4tダンプ	積載量 4,000 kg
車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真	
車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真		車両正面写真	

# 2018年度 環境目標及び環境活動計画書

大塚	大塚	岡本
代表者	環境管理責任者	環境事務局

方針	目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる)	目標達成手段	責任部門 (責任者)	取組評価	定期的な確認・評価・是正(挽回策)	
電力の二酸化炭素削減	【基準年】 基準年実績(2015年度) 電気 <b>499,206</b> kWh 二酸化炭素 352,439 kg-CO2 二酸化炭素排出係数: <b>0.706</b>	エアコンの温度設定(夏27度、冬23度) 動力が電気の施設休憩時間は停止 パソコンおよびコピー機など節電モードの設定	本社(平井) 金川(大智) 建部(川上)		7月に西日本豪雨災害があり、例年に比べ廃棄物の荷受けが多くなりました。9月には新設備が稼働する予定なので、使用電力がどう推移するのか経過観察します。	
	【目標、目標期間】 2018年度 479,238 kWh 338,342 kg-CO2			1/4半期 上半期 3/4半期	上半期は、8月を除き、全体的に使用電力が多くなりました。9月からは新設備が稼働し、増加傾向にあります。次年度からは基準数値の見直しが必要になると思われます。	
	【中期目標】				12月は工場内整備の為、受入を一時停止しました。その影響で12月のみ使用電力が下がりました。ただし、これは一時的なことなので、もう少し経過観察し、新たな基準数値を設ける必要があります。	
	年度 目標値 基準年度比	【中期計画】	実績	717,701	今年度は西日本豪雨災害の影響で搬入量が極端に増え、工場内の動きもかなり制限されてしまいました。しかし、3月より新たな出荷先が出来、中長期的には安定した操業が実現出来ると予想されます。今後も段階的な工場の拡充が必要とされますので、社内での検討を重ね、より効率的で省エネの工場作りを進めていきます。	
	2018年度 479,238 kg-CO2 96%	処理フローの見直し	(月別)Kg-CO2		総括	
	2019年度 474,246 kg-CO2 95%	消費電力を監視、効率化の模索	(累計)Kg-CO2	144%		
	2020年度 469,254 kg-CO2 94%		月次評価			
			累計評価			
	二酸化炭素排出量削減 重機や自動車の二酸化炭素削減	【基準年】 基準年実績(2015年度) ガソリン <b>6,546</b> ℓ 軽油 <b>141,060</b> ℓ 二酸化炭素 385,387 kg-CO2	休憩時間は必ずエンジンをとめる 効率よく処理できるような体制の構築 エンジンの出力調整	本社(岡本) 金川(井上) 建部(田淵)		6月、7月は電力で稼働している破砕機のメンテナンスの為、軽油稼働の破砕機で代用し、その結果使用量が増加しております。
		【目標、目標期間】 2018年度 369,972 kg-CO2			1/4半期 上半期 3/4半期	9月より新たな破砕機が稼働し、繁忙に対し軽油の使用量が減少しています。凄いい傾向だと感じます。
		【中期目標】				3/4半期も上半期と同じく、かなり使用量が抑えられています。基準年に比べ重機の数が増え、とても目標を達成できないので、基準自体の見直しが必要かもしれません。
		年度 目標値 基準年度比	【中期計画】	実績	4,668	総括
		2018年度 369,972 kg-CO2 96%	低燃費車両、電気車両、低燃費の重機の導入	ガソリン L	248,375	
		2019年度 366,118 kg-CO2 95%		軽油 L	662,658	
2020年度 362,264 kg-CO2 94%			(月別)Kg-CO2	172%		
			(累計)Kg-CO2		月次評価	新しいフローにより後半の使用量はかなり抑えられたと思います。今後は使用重機の種類、数に応じた基準値の策定をする予定です。
					累計評価	
処理工程の効率化		【基準年】 基準年実績(2015年度) 廃棄物入荷量 <b>36,873</b> t CO2排出量 <b>737,826</b> kg CO2排出量 / 廃棄物量 <b>20.2</b> kg	廃棄物処理に対する排出されるCOの抑制 (処理フローの見直し) (処理がスムーズに行われているかを管理)	金川(大塚)		ほぼ前期と横ばいです。現在の処理フローでは限界が来ているかもしれません。9月の新設備によるフロー改善を期待します。
		【目標、目標期間】 2018年度 19.2 kg			1/4半期 上半期	1/4半期のCO2排出量 / 廃棄物量平均 23.2kg に比べ、21.3kgと如実に効果が現れています。まだまだ試行段階なので、フローを社内で模索していきます。
		【中期目標】				12月は搬入に制限をかけたため、正確な数字が出ませんでした。参考として、1月と2月の平均は 22.1kg でした。
		年度 目標値 基準年度比	【中期計画】	実績	19.2	3/4半期
		2018年度 19.2 kg 95%	処理の効率化	廃棄物数量(t)		
	2019年度 19.0 kg 94%		累計(t)			
	2020年度 18.8 kg 93%	無理無駄の削減	(月別)kg			
			(累計)kg		無	

方針	目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる)	目標達成手段	責任部門 (責任者)	取組評価	定期的な確認・評価・是正(挽回策)	
				(月別)kg 24.8 (累計)kg 123%	12月を除いた月のCO2排出量 / 廃棄物量平均が 22.7kgと昨年とほぼ横ばいでした。原因はいくつか思い当りますので、どのように対応していくのか、社員一同で知恵を出し合ひましょう。	
				月次評価 累計評価		
廃棄物排出量削減	再資源化率100%の維持	【基準年】 基準年実績(2015年度) 再資源化率 100 %	再資源化率100%の維持	金川 (大塚)		100%再資源化出来ました。
		2018年度 100.0 %				100%再資源化出来ました。
		【中期目標】		基準年	(月別)kg 100.0 (累計)kg	100%再資源化出来ました。
		年度 目標値 基準年度比		目標	(月別)kg (累計)kg 100.0	
		2018年度 100.0 % 100%		実績	(月別)kg 100.0 (累計)kg 100%	全体を通して100%再資源化が実現することが出来ました。
		2019年度 100.0 % 100%	【中期計画】			
		2020年度 100.0 % 100%	処理困難物の受入、選別再資源化の模索			
				月次評価		
				累計評価		
水使用量削減	水使用量の削減	【基準年】 基準年実績(2015年度) 使用量 1,528 m3	節水ポスターの掲示	本社 (小林・和間○)		西日本豪雨災害の影響で土砂が付着している解体材の搬入が多く、粉塵防止のため散水を多く行いました。そのため、基準年に比べ倍近くの使用量となっております。
		2018年度 1,467 m3	井戸水や川から取水	金川 (大智)		目標を達成することは出来ませんでした。前月から引き続き解体材の入荷が多く、粉塵防止の為に散水を多めに行っているのが原因だと思われます。
		【中期目標】		基準年	m3 1,528 (累計)m3	3/4半期は目標を達成できませんでした。堆積物の発酵熱を下げる為に散水を行ったことが原因と考えられます。
		年度 目標値 基準年度比		目標	(月別)m3 1,467 (累計)m3	
		2018年度 1,467 m3 96%	【中期計画】	実績	(月別)m3 2,833 (累計)m3 185%	全体的に水の使用量が増えています。来年度は今年度行うことが出来なかった井戸を掘り、上水の使用量削減をすることを目標にします。
		2019年度 1,452 m3 95%	節水ノズル等の導入			
		2020年度 1,436 m3 94%	車及び重機の洗車に対して、雨水の再利用			
				月次評価		
				累計評価		
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	【目標、目標期間】 2018年度 9 品目or %	事務用品や消耗品をグリーン購入対応品に切り替える	本社 (岡本)		グリーン購入を意識し事務用品を選んでいきますので、結果が如実に現れています。
		【中期目標】		金川 (和気)		
		年度 目標値		建部 (川上)		
		2018年度 9 品目or%		事務用品集計	母数 149	今後もこのペースを維持して継続していくことが大切だと思います。
		2019年度 10 品目or%	【中期計画】		グリーン購入 40	
		2020年度 11 品目or%	低価格商品のみならず、高価格商品も切り替える		比率 27%	
		評価				

方針	目標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる)	目標達成手段	責任部門 (責任者)	取組評価	定期的な確認・評価・是正(挽回策)
教育等 年間活動実績 スケジュール	環境教育	・環境方針・目標・活動計画の周知	環境管理責任者		全体としては目標が達成できなかったと思います。今後の目標と致しましては、より無駄の無い処理工程の考察と、低環境負荷の機器の導入です。一歩ずつ進んでいきましょう。
	一般教育 幹部教育	・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価	環境管理責任者		
	緊急事態対応訓練	・火災対応訓練	総務部		
	環境関連法規等の遵守評価チェック		環境管理責任者		
	会社周辺の清掃活動		各工場長		
	代表者による全体の評価と見直し		代表者		
	環境活動レポート	・作成と地域事務局への送付	環境管理責任者		
				総括	

※計画:○、実績:●

**環境関連法規等一覧表（遵守評価記録）**

一覧表は定期的(毎年)に最新版管理をし、遵守評価を実施する。

作成日:2015年7月1日  
 改定日:2015年7月1日  
 確認日:2019年5月31日

承認者  
 大塚 翔  
 作成者

遵守評価日  
 2019年5月31日

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	条項 (法律、規則、施行令)	関連条例等による規制	該当する設備・項目	点検・測定頻度、実施時期	届出・報告・資格				遵守評価			
						許可	届出 報告	資格	届出先	担当	証拠	判定	
廃棄物処理法 (処理業)	(一廃) 事業許可証の有効期限、契約書有効期限	法7条、法8条		一般廃棄物収集運搬業者	1回/2年	○			市町村	中野	許可書	○	
	(産廃) 事業許可証の有効期限、契約書有効期限	法14条		産業廃棄物収集運搬業者	1回/1年	○			知事	中野	許可書	○	
	排出事業者との契約書の確認									大塚	契約書	○	
	排出事業者からのマニフェスト伝票受取り									和気	マニフェスト	○	
	B1、C2票の保管(5年間)	法12条		他者排出の産業廃棄物						和気	マニフェスト	○	
	運搬車両への表示義務、マニフェスト伝票の携行、許可書(写し)の携行	則8条の19~38			処分先への収集運搬を受託するとき					大塚		○	
	排出事業者へのB2票の送付									和気	マニフェスト(写し)	○	
	処理実績報告	法12条の9の10				毎年6月末		○		中野	実績報告書	○	
	産廃中間処理施設(濃縮施設・破砕施設・圧縮施設・選別施設など)	法15条の1の2					○		知事	中野		○	
	一廃処理施設(破砕施設・圧縮施設、油水分離設備、食品廃棄物の選別施設など)	法7条の6、 法8条の1					○		知事	中野		○	
肥料取締法	特殊肥料の届出	法22条		特殊肥料	初回のみ	○			岡山県	田淵	届出書	○	
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	対象事業が公共工事の場合	国土交通省告示第348号	バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザ、発動発電機、空気圧縮機、油圧パワーユニット、ロードローラー、タイヤローラー等	対策型ステッカー貼付の建設機械使用	公共事業の都度		○		発注者及び元請者への報告	大塚	ステッカー確認	○	
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	対象事業が公共工事の場合	国土交通省告示第487号		低騒音型：ブルドーザ、バックホウ、トラクタショベル、パイプロハンマー、削岩機、コンクリートカッター、空気圧縮機、発動発電機等 低振動型：パイプロハンマー、バックホウ	公共事業の都度		○		発注者及び元請者への報告	大塚	ステッカー確認	○	
	地域別騒音基準の順守	法5条、S43年告示1								大塚	届出書(環境アセス)	○	
騒音規制法 岡山市環境保全条例	地域別騒音基準の順守 (岡山市環境保全条例による規制：空圧機・送風機 2.25~7.5kW以上、空調機(冷凍機) 7.5kW以上)	法4条、S43年告示1	ドラムパーカー 3台	異常音の日常管理			○			有坂	記録類	○	
	特定施設の事前届出	法6条	〃	設置工事開始30日前			○		知事/市長	中野	新設(有無)届出書	○	
振動規制法	地域別振動基準の順守	法4条、法5条、S51告示環90	ドラムパーカー 3台							有坂	記録類	○	
	特定施設の事前届出	法6条	〃	異常音の日常管理 設置工事開始30日			○		知事/市長	中野	新設(有無)届出書	○	
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し	法41条	業務用空調機、業務用冷蔵庫・冷凍庫等	廃棄時、修理時								-	
	フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存(3年間)	法43条、法45条の3	〃							井上	委託確認書 引取証明書	-	
	引取証明書が30日以内に送付されない場合の知事への報告	法45条の4	〃				○		知事		引取証明書	-	
	第1種特定製品の点検・記録の保管 簡易点検:3ヶ月に1回以上	法16の1	〃							井上	記録類	○	
	フロン類算定漏洩量の報告(漏洩量1000t-CO2以上)	〃		第1種特定製品の点検修理、外漏の重点・回収を整備業者への委託			○		所管大臣	井上	報告書	-	
	機器の使用に関する義務 機器の廃棄等に関する義務	法16条 法19条	機器の点検の実施、点検等の履歴の保存、漏えい防止措置、漏えい量の報告 機器の廃棄時のフロン類回収の徹底							井上	点検・整備記録簿 引き取り証明書	○ -	
道路交通法	道路交通法に定める法律の遵守	法1章~9章	道路交通法に定める法律の遵守		通年					岡本	免許証 朝礼	○	
道路運送車両法	自動車の登録	法4条			初回のみ		○		陸運局	岡本	車検証	○	
	車両の日常点検及び定期点検の実施	法47条、48条、49条			毎日の運行前点検、3カ月点検、12カ月点検		○			大塚	点検整備記録簿	○	
消防法	指定可燃物の扱い	法9条の4	市町村火災予防条例：指定可燃物の指定数量の5倍以上の届出					○		市町村	中野	現場観察	○
	消防設備の点検	法17条の3の3		消火器 火災報知器	1回/半年(消火器) 1回/1年(火災報知器)					光信	点検書類	○	
計量法	計量器の法定定期検査	法21条	トラックスケール		1回/2年					大塚	証明書	○	
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	法5条		購入品・調達品 購入先・外注先						岡本	請求書等	○	

## 9. 代表者による全体評価の見直しの結果

2019年8月30日

### ●環境管理責任者からの報告

環境管理責任者： 大塚 翔

項目	状況
環境目標の達成状況	目標はあまり達成できませんでした。
法令等の遵守状況	法令違反はありませんでした。
外部からの苦情要望	特にありませんでした。
環境法規制の改正、環境に関する新しい技術などの情報	新しい設備が稼働し、出荷先も増えました。今後も目まぐるしく変化していくと思いますが、各々出来ることを考え、アイデアを出し合ひましょう。
前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ	西日本豪雨の影響が大きく、負担も多かったと思います。この経験を生かし、通常営業に戻った時にはいい結果が出せるよう頑張ります。
改善のための提案	排水量を減らすため、地下水や雨水の利用を検討しましょう。来期は関連法規に関する座学を行います。

### ●社長の評価・見直し

見直し、支持事項	昨年、7月の西日本豪雨災害以降、受入量が相当増加し、何度も行け入れストップしました。なんとか許認可の範囲内で一年を乗り切ったと思います。			
見直しの必要性	環境方針	環境目標	環境活動計画	環境経営システム
	要 (否)	要 (否)	要 (否)	要 (否)

2019年8月30日

社長サイン： 大塚 雅司